



学校教育目標

3つのKを達成しよう

○ 活躍しよう

○ 基礎・基本をしっかり身に付けよう

○ 健康な心と体を育てよう

昼の暑さは相変わらずですが、それでも朝夕は涼しく感じられる日が増えるなど、少しずつ季節の移ろいが感じられるようになってきました。41日間の夏休みが終わり、再び学校に皆さんの明るい笑顔と元気な声が戻ってきて、とてもうれしく思います。

パリ五輪を見て

この夏、パリでオリンピックが開かれました。ブレイキンやスポーツクライミングといった新しい競技も含め、様々な競技で熱い戦が繰り広げられました。パリとは時差があるので、録画やダイジェスト版を見た人が多いと思いますが、もしかしたら眠い目をこすりながら、生中継で観戦した人もいるのかもしれませんが。レスリング、卓球、スケートボード、そのほかの競技でも日本人選手の活躍が目立ちました。

そんな中、フェンシング女子のフルーレ団体が、フェンシング女子で日本初の銅メダルを獲得しました。試合翌日のインタビューに答える宮脇花綸選手のコメントが、とても印象的でした。それは、「スポーツはうまくいかないことばかりです。そんな中でも、自分を信じて努力を積み重ねてきた結果のメダルです。」というコメントです。

私から見ると、どうしてあんな風に動けるのだろうかと思える宮脇選手でさえ、普段は「うまくいかないことばかり」と感じていることにまず驚きました。そして、不安や心配で動揺しながらも、それでも「自分にはできるはず」と自分を信じ、歯を食いしばって努力を続けたというのです。

大会やコンクール、入試といった、自分にとっての壁に挑戦する時、誰しも心が揺れ動き、逃げたり、目を背けたりしたくなるような場面が出てくるのかもしれませんが。そんな時は視野も狭くなっていて、自分だけが弱くて情けないような気になりがちです。しかし、オリンピックでメダルを取るような選手でさえも、同じ想いの中でもがいているのです。大切なのは、自分にはできるはずと自分を信じ諦めないことです。今日から始まる2学期は、他のだれかではなく自分に負けない学期にしていきたいと思います。

大雨の日の出来事

今夏は、激しい雨が何度も降りました。7月31日(水)の夕方、柳瀬地区を大雨が襲いました。「車軸を流すような」とか、「バケツをひっくり返したような」と表現される、まさに土砂降りです。柳瀬ではこの夏初めての大雨だったので、もしかしたら覚えている人もいるかもしれません。

その日、勤務が終わり帰ろうと歩いていた事務の吉田さんは、途中で豪雨に巻き込まれました。駅を目指して足早にアンダーパスを通ろうとした時、アンダーパスの中央部にたまった雨水で動けなくなった車を見かけます。しかも、車にはまだ人が乗っていて、出られずに困っています。

吉田さんは、まず110番通報して助けを呼びました。吉田さんに聞くと柳瀬まちづくりセンターの辺りでポツポツ降り始めたと思ったら、アンダーパスに着いた時にはもう車が動けなくなる位の水がたまっていたということで、その間約10分くらいだそうです。雨の激しさが解ります。

助けを待つ間も雨は激しく降り続き、アンダーパスには雨水がどんどん流れ込んでいきます。運転者の身に危険を感じた吉田さんは、濡れるのも構わず水の中に入って、お腹の辺りまで水に浸かりながら、その場に居合わせた人達と協力して運転していた人を助けたそうです。

柳瀬中学校では、こんな人が事務として皆さんの生活を支えてくれています。